

設問1

生後7～9カ月における運動発達で誤っているのはどれか、1つ選べ。

A1	座位または四つ這い姿勢から膝立ちになり何かにつかまって立ち上がることができる。
A2	座位保持が可能となり、上肢を使って遊ぶことができる。
A3	腹臥位での方向転換や前方への腹這い移動が可能になる。
A4	腹臥位で片手を支持し、もう片方の手でリーチする動作がみられる。
A5	両手をあげながら歩き始める。

正解 A5

1歳～1歳6ヶ月で上肢がハイガード、下肢がワイドベースで歩き始める始歩、ミディアムガードでの初期歩行が見られ、ノーガードの歩行と発達は進んでいく。

設問2

視覚認知に関連する行動の発達について誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	2歳で色がわかる(名称が言える)
A2	生後8～10ヶ月で、見つめていたものを隠すと探す。
A3	生後2～3ヶ月であやすと笑う
A4	生後8～10ヶ月で人見知りが始まる
A5	5歳でひらがなが読める

正解 A1

3歳頃より色がわかり、赤黄色緑青などの名称が言えるようになる。

設問3

哺乳機能、摂食嚥下機能の発達について誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	新生児期の哺乳において、吸啜、嚥下、呼吸は密接な関係がある。
A2	離乳食初期の生後5～6ヶ月頃には上下の口唇を閉じてスプーン上の食べ物をこすり取る捕食が獲得される。
A3	生後7～8ヶ月頃には離乳食中期となり1日2回食が基本となり、舌でつぶせる固さの食物が摂取できる。
A4	生後9～11ヶ月頃には離乳食後期となり1日3回食が基本となり、歯でしっかりと咀嚼してつぶせる固さの食物が摂取できる。
A5	1歳半頃からスプーンを使って食べられる乳児が増えてくるが、手づかみ食べとの併用は続く。

正解 A4

生後9～11ヶ月頃には離乳食後期となり1日3回食が基本となり、歯茎でつぶせる固さの食物が摂取できる。

設問4

排泄動作の発達について誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	新生児は、尿意や便意を感じず、何かの拍子に引き起こされる刺激で、その都度反射的に少量ずつ排泄される。
A2	生後6ヶ月頃より少し畜尿ができるようになり、排尿にも一定のリズムが出てくるようになる。
A3	生後8～10ヶ月頃になると排便、排尿に反射を利用できるようになる。
A4	生後11ヶ月～1歳半頃になると排尿がわかるようになり、排尿前に通告することはできないが排尿後に通告する。
A5	生後1歳半～2歳前半になると、排泄の通告が確実になり、直前ではあるが排尿前に通告できるようになり始める。

正解 A3

生後8～10ヶ月頃になると排便、排尿に腹圧を利用できるようになる。

設問5

社会性の発達について誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	新生児期は、母親を認識することはできずだれに対しても顔を見つめてほほ笑む。
A2	生後3ヶ月頃になると両親など家族に対して自分から微笑する内発的微笑を認める。
A3	生後6ヶ月頃になると母親を他者と区別して反応する選択的微笑を示すようになる。
A4	生後9～10ヶ月頃になると「バイバイ」などの模倣ができるようになる。
A5	生後9～10ヶ月頃になると指差し行動や視線追従ができるようになり「自分-他者-物」という三項関係の基礎が出来上がる。

正解 A2

生後3ヶ月頃になると両親など家族に対して自分から微笑する社会的微笑を認める。